

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	秦野市役所			代表者名	市長 高橋 豊和
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	デジタル推進課	連絡先電話番号	0463-82-5115
担当者役職	課長代理	担当者氏名	西澤 冠	連絡先E-mail	
住所	257-8501 神奈川県秦野市桜町1丁目3-2				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署			
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修(単独)	事業名	秦野市新任監督者研修		
概要	今年度課長代理級(係長級)に昇格した管理職を対象とした階層別研修の一つの研修項目として、「GIS活用事例や自治体における生成AIの活用方法」についてオンライン(ZOOM)で講義いただくもの。				
支援を求める分野	オープンデータ EBPMAI活用 生成AI活用 人材(DX推進のための機運の醸成) 人材(DXに関する知識習得・研修・育成)				

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日(申請書より)	支援内容(申請書より)	開始時刻		
	令和6年12月24日	支援・助言	15時30分	16時30分	
				活動時間(分)	60

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	家中 賢作
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	本市が感じている課題(EBPMの考え方や日常業務給への生成AIの活用事例)を的確に捉えていただき、それを踏まえた研修用資料等をご準備いただくこととなった。
アドバイザーへの要望事項	特に無し

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	合計人数	1人
	属性 自治体職員 住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数 1		

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	本市では「はだのICT活用推進計画」を基本に、各種デジタル化の取り組みを実施しています。令和8年度から、新たな計画期間が始まる事に伴い、各担当課の業務におけるDX化が大きなテーマの一つとなり、現状としては、担当課毎にDXへの取り組み意識等にバラツキがあり、積極的に取り組む課と消極的な課に分かれることが課題となっています。GISや生成AIなど、各種デジタルツールを先進的に活用している他自治体の内容についてオンライン(ZOOM)で講義いただき、新任管理職がヒントを得た中で、各担当課における業務のDX化の意識の底上げを図り、課題解決につなげたいと考えております。
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	令和7年1月20日に予定している研修の内容を決定する

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	本市の課題を捉えていただいた中で、EBPMの概念等の学術的な話では無く、自治体におけるEBPMやデータの利活用など、行政デジタル化の国の動向等も抑えながら、分かり易い資料の案をご提示いただいた。また、生成AIについて、その具体的な活用方法を研修内容に追加いただけることとなった。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	研修内容のすり合わせを適切に実施できた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他
	研修テキストの内容について、具体的な内容を示していただけ	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	最終的な研修資料については別途メール等で調整	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	
	研修時にアンケートを実施予定です。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	⑤その他
	新任管理職がヒントを得た中で、各担当課における今後の政策立案等に活かすこと	
4-4. 事業の最終的な目指す姿	現計画に掲げる「市民と行政の未来をつなぐ、ICT・データの有効活用」という基本方針を念頭に、このような研修等を活用しながら、各担当課業務のDX化を推進することで、行政手続のデジタル化や地域におけるICT活用のサポートなどを通じて、いつでも、どこでも、つながる、市民目線に立った利便性向上や地域コミュニティの活性化を図り、市民と行政をつなぐ、便利でやさしい地域情報化を目指す。	

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

